※令和４年度以降入学生用

学校番号	２２０１

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語②	単位数	２	年次	２～４
使用教科書	新編 論理国語　（大修館書店）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業では、論理的に「読む」力・「書く」力を身につけることをねらいとしており、自ら学習の目標を持ち、積極的に国語の力を身に着けようとする姿勢が必要です。
・講義形式・実習形式で授業をすすめます。小テストやレポート・小論文の執筆、演習・発表等を行うこともあります。
・教科書・副教材・ノート・筆記用具の他に、ChromeBook を使う場合もあります。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにしている。主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。語彙を豊かにしている。テーマ型小論文における、効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。	文章の種類をふまえて、論点を明確にしながら要旨を把握している。根拠や論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。具体的なテーマを決め、適切な問いを立てている。多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。自分で立てた問いについて、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。	筆者の考えを読み取ることに興味をもち、筆者の主張を支える根拠・論拠をとらえたり、関連する文章との比較を通して自分の考えを広げたりしようとしている。 レポートを書くことに興味をもち、具体的なテーマを決め、適切な問いを立てようとしている。 これまでの学習をもとにして、自ら問いを立て、小論文を書こうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
後期	1　自己を見つめて ［教材］ 探求する力	a：必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。［(1)イ］ b[読]：文章の種類をふまえて、論点を明確にしながら要旨を把握している。［B(1)ア］ c：筆者の考えを読み取ることに興味をもち、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。	記述の確認・分析 （ノート・ワークシート等） 小テスト 定期考査	記述の点検 （ノート・ワークシート等） 定期考査	観察（ノート・ワークシート等）
	2　思考を深める ［教材］ 和の思想、間の文化	a：主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。［(2)ア］ b[読]：根拠や論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。［B(1)ウ］ c：筆者の考えを読み取ることに興味をもち、筆者の主張を支える根拠・論拠をとらえようとしている。	記述の確認・分析 （ノート・ワークシート等） 小テスト 定期考査	記述の点検 （ノート・ワークシート等） 定期考査	観察（ノート・ワークシート等）
	第Ⅰ部8　レポートを書く ［教材］ テーマを決め、問いを立てよう	a：レポートを書くために必要な語句の量を増し、語彙を豊かにしている。［(1)イ］ b[書]：具体的なテーマを決め、適切な問いを立てている。［A(1)ア］ c：レポートを書くことに興味をもち、レポートの具体的なテーマを決め、適切な問いを立てようとしている。	記述の確認・分析 （ノート・ワークシート等） レポート 定期考査	記述の点検 （レポート） 定期考査	観察（ノート・ワークシート等） レポート
	4　視点を変えて ［教材］ クオリアと心	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。［(1)イ］ b[読]：主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。［B(1)ウ］ c：筆者の考えを読み取ることに興味をもち、関連する文章との比較を通して自分の考えを広げようとしている。	記述の確認・分析 （ノート・ワークシート等） 小テスト 定期考査	記述の点検 （ノート・ワークシート等） 定期考査	観察（ノート・ワークシート等）
	7　未来に目を向けて ［教材］ 豊かさとつながり	a：主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。［(2)ア］ b[読]：文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。［B(1)カ］ c：筆者の考えを読み取ることに興味をもち、現代社会や世界が抱える課題について、自分の考えを広げようとしている。	記述の確認・分析 （ノート・ワークシート等） 小テスト 定期考査	記述の点検 （ノート・ワークシート等） 定期考査	観察（ノート・ワークシート等）
	5　問いを深めて書く ［教材］ 小論文②	a：テーマ型小論文における、効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。［(1)エ］ b[書]：自分で立てた問いについて、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。［A(1)イ］ c：これまでの学習をもとにして、自ら問いを立て、小論文を書こうとしている。	記述の確認・分析 （ノート・ワークシート等） 小論文 定期考査	記述の点検 （小論文） 定期考査	観察（ノート・ワークシート等） 小論文

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１２　）時間

・読むこと　…　（　４８　）時間